



注目のリリース: G Suite が備えたエンタープライズ級の新しい管理機能とシームレスな統合機能

G Suite の企業ユーザー向け管理機能がさらに強化:

- [セキュリティキーの使用を必須にする](#)
- [Google ドライブのデータ損失防止 \(DLP\)](#)
- [Gmail のホスト型 S/MIME](#)
- [Gmail ログと BigQuery の統合](#)
- [Gmail 用のサードパーティ製アーカイブ ツール](#)
- [新しい G Suite Enterprise](#)



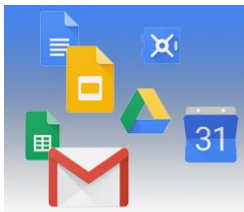
協力して作業する

[ウェブ版 Google カレンダーで会議スケジュールをよりスマートに設定](#)



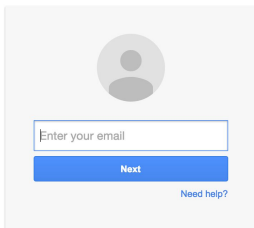
場所を選ばず作業

[Google ドキュメントとスプレッドシートのモバイルアプリに新機能を追加](#)



シンプルな使い勝手

[ウェブ版 Google ハングアウトでのグループチャットの作成がより簡単に](#)
[Google スプレッドシートでセルのかたまりを挿入、削除する](#)
[Google ドライブでテンプレートを使ったファイルの作成がより簡単に](#)



ビジネス対応

[管理コンソールの転送設定の一元化により、メールの効率的な管理が可能に](#)
[Google Play プライベートチャンネルの変更について](#)
[SMTP リレーの不正使用を防いでドメインから送られるメールの信頼性を維持](#)



G Suite についてのその他のお知らせ

[Google Cloud Next '17: 2017年3月8日~10日 | サンフランシスコ](#)
[Google Cloud Connect \(GCC\) : G Suite 管理者のコミュニティ](#)
[YouTube の G Suite Show](#)
[G Suite 管理者向けの最新情報の動画](#)

できるよう、ご意見をお聞かせください。

注目のリリース: G Suite が備えたエンタープライズ級の新しい管理機能とシームレスな統合機能

G Suite の企業ユーザー向け管理機能がさらに強化

リリース日: 2017 年 1 月 31 日

★ 管理者向けの機能

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: 拡張性、スピード、総所有コストの低さを兼ね備えたクラウドは、企業に多大なメリットをもたらす。組織内のチームの意欲を高める働きやすさを提供します。さまざまなインテリジェント アプリが統合された G Suite は、クラウドを活用する世界中の企業に対応しています。現在、Whirlpool、PWC（英語）、Woolworths などの 300 万社以上の企業が、G Suite を利用してより手軽に共同作業を進めています。

また昨今は、より詳細な管理と公開設定によって機密性の高い資産を保護することにも、多くの関心が集まっています。そこで本日より、下記の厳密な管理機能と公開設定が G Suite に導入されることになりました。これらは企業のお客様や CTO の方々、さらに規制当局からもご要望の声が多かった機能です。

- セキュリティ キーの使用を必須にする機能により、管理者のアクセス コントロールを強化
- Google ドライブのデータ損失防止 (DLP)、Gmail の DLP、Gmail の S/MIME を使った、より綿密なデータ管理
- BigQuery と Gmail の連携による詳細な分析

会社の端末やシステムにアクセスできるユーザーを管理

- **セキュリティ キーの使用を必須にする:** Google では、2011 年に 2 段階認証プロセスを採用し、ユーザーが Google アカウントにログインする際のセキュリティを強化しました。2 段階認証プロセスでは、セキュリティ キーの利用を組織の G Suite 管理者が選択できます。セキュリティ キーは他の方法に比べてユーザーにとって利便性が高いだけでなく、フィッシングなどの攻撃からより強固にアカウントを保護します。コードをテキストで受け取る代わりに、セキュリティ キーをノートパソコンに直接挿入するか、Bluetooth や NFC を利用してモバイル端末とペア設定することで、認証を行います。本日、管理者がセキュリティ キーを使用するユーザーにのみログインを許可することにより、セキュリティ キーの使用を必須にできる機能が追加されます。管理者はセキュリティ キーの導入を管理し、使用状況レポートを確認することもできます。

したのか

Stripe

G Suite

社では、世界各国にまたがる
ります。同社の従業員は日々の業
ーションやコラボレーションを
ッシング攻撃や不正なメールア
リティ対策が強化されました。

Stripe



ます。そのため、お客様の
セキュリティの強化機能
ています。 のセ
コンとモバイル端末の
のセキュリティ

2

G Suite

Bryan Berg

Stripe

社外のユーザーとのデータ共有方法を制御

- **Google ドライブのデータ損失防止 (DLP):** 2015 年にリリースされた Gmail の DLP（英語）では、簡単なルール設定、OCR による画像解析、高度なカスタマイズ機能が導入されました。このたび Google ドライブにも DLP 機能が導入され、管理者はより簡単に機密データを保護し、保存可能なコンテンツを制御して、ユーザーが誤って外部に機密情報を共有する事態を防ぐことができるようになりました。G Suite の DLP 機能は、ルールの設定が容易なうえ、画像内のコンテンツを OCR で認識で

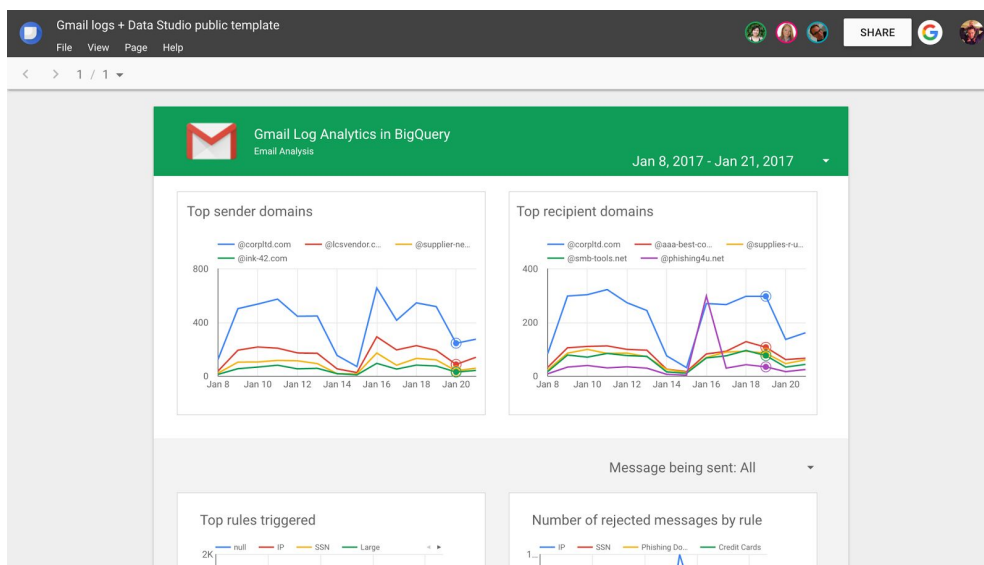
きるという点で他の標準的な DLP を凌駕しており、管理者は容易にポリシーを適用してデータの共有方法を管理できます。



- Gmail のホスト型 S/MIME:** Gmail のセキュリティに関しては、バックグラウンドで動作している数々のセキュリティ対策によってメールの安全が確保されています。また、なりすましメールの対策に役立つ業界標準の認証にも対応しています。さらにこのたび、相手側のメールサービスで十分なデータ保護対策が講じられていないケースを踏まえ、S/MIME 暗号化用の独自の証明書を使用することで、セキュリティを強化できるようになりました。管理者は S/MIME の使用を必須にして、組織部門ごとのニーズに合わせた DLP ルールを設定できます。

従業員の操作や行動を把握

- Gmail ログと BigQuery の統合:** Gmail ログには、管理者が問題を診断したり、分析したりする際に役立つ有益な情報が含まれています。このたび、事前に BigQuery との統合を設定することで、Gmail ログをより簡単に分析できるようになりました。管理者は高性能かつ洗練されたカスタムクエリを実行し、抽出されたデータを分析して、カスタム ダッシュボードを作成できます。



- サードパーティ製のメールアーカイブソリューション:** Google Vault を使用すれば、Gmail のコンテンツを簡単にアーカイブできると同時に、訴訟のための記録保持（リティゲーション ホールド）や監査レポートの作成にも対応できます。しかし、HP Autonomy や Veritas といった他のサードパーティの SMTP アーカイブソリューションを利用している組織もあるでしょう。そこで、サードパーティが提供するアーカイブソリューションを Gmail と簡単に統合できるように改善が行われました。

これらの機能はすべて、新しい G Suite Enterprise でご利用いただけます。これらの機能は G Suite のさまざまなお客様のニーズに対応できるよう設計されているため、厳密な管理機能、シームレスな統合、インテリジェントなアプリを組織の規模を問わず活用できます。G Suite Enterprise がお客様の組織に適しているかどうか、ぜひご検討ください。

協力して作業する

ウェブ版 Google カレンダーで会議スケジュールをよりスマートに設定

リリース日: 2017 年 1 月 19 日

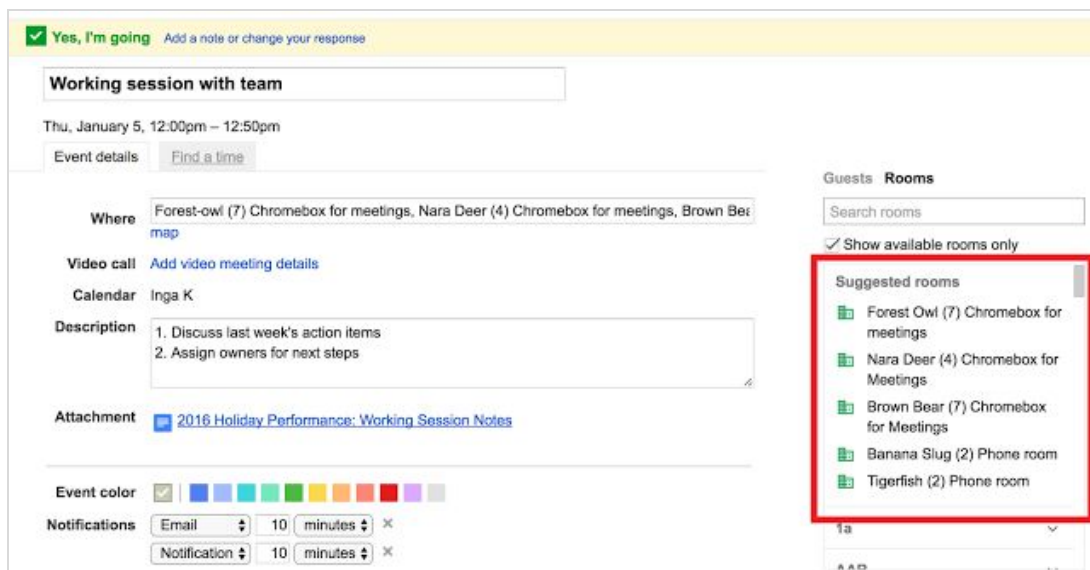
組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: 昨年は [Android](#) (英語) 向けと [iPhone](#) (英語) 向けの Google カレンダーを対象に、会議に適した時間を探したり、会議室を予約したりするための機能が導入され、ユーザーは効率的に会議を設定できるようになりました。今回のリリースでは、[ウェブ版 Google カレンダー](#)にも、会議室の提案機能やゲストのタイムゾーンを示す機能が導入されました。

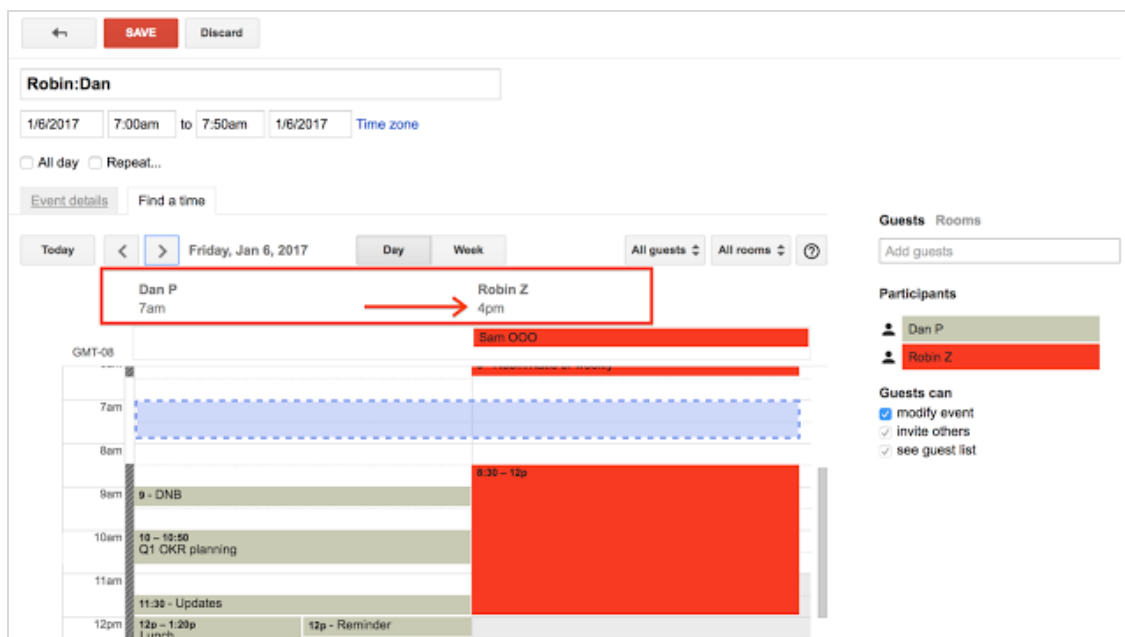
会議室の提案

会議の予定を作成すると、作成したユーザーやゲストが以前に使用した会議室が提案されます。これまでどおり、会議室を閲覧、検索することも可能です。



ゲストのタイムゾーン

Google カレンダーで、複数のタイムゾーンをまたいで連携するのに適した時間を簡単に見つけるようになりました。各ゲストのタイムゾーンが異なる場合は、[時間を探す] タブにそれぞれのタイムゾーンでの会議時間が表示されます。カレンダーの共有とタイムゾーンについて詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。



2017 年は、[カレンダー リソース](#)の管理に役立つスケジュールリングに関する多くの機能の改善を予定しています。引き続きご注目ください。

場所を選ばず作業

Google ドキュメントとスプレッドシートのモバイルアプリに新機能を追加

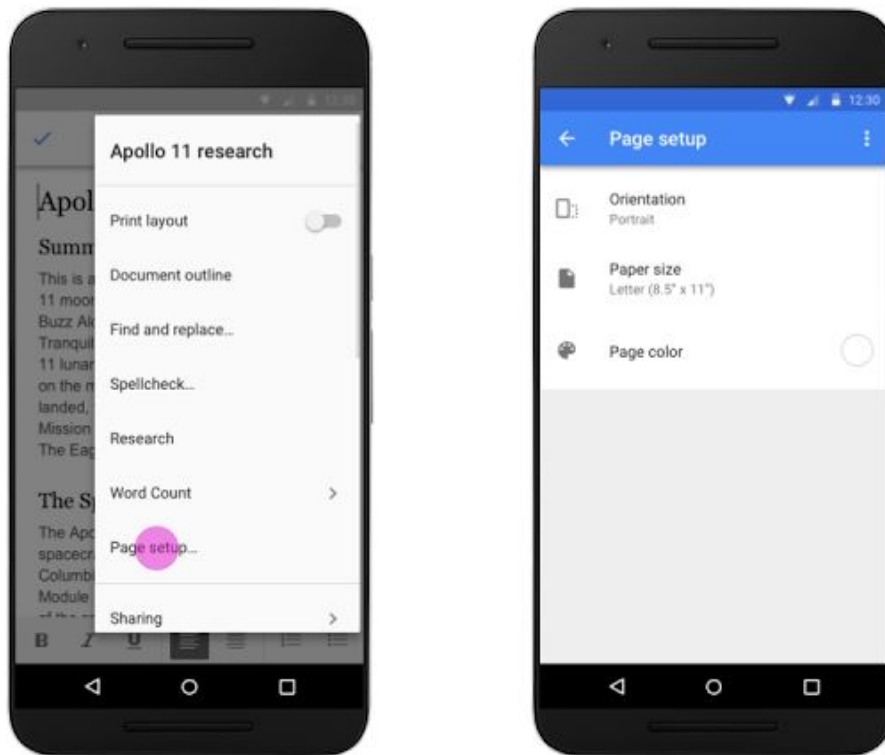
リリース日: 2017 年 1 月 4 日、26 日

組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: Android 向けと iOS 向けの Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドの新バージョンが入手可能になりました。各アプリに追加された新機能により、移動中の作業効率もアップします。

Android: Google ドキュメントのページ設定と Google スプレッドシートの画像サポートの改善
Android 搭載端末でドキュメントの向き、用紙サイズ、ページの色を変更できるようになりました。スプレッドシートでは、IMAGE 関数を使用してセル内に画像を表示できます。

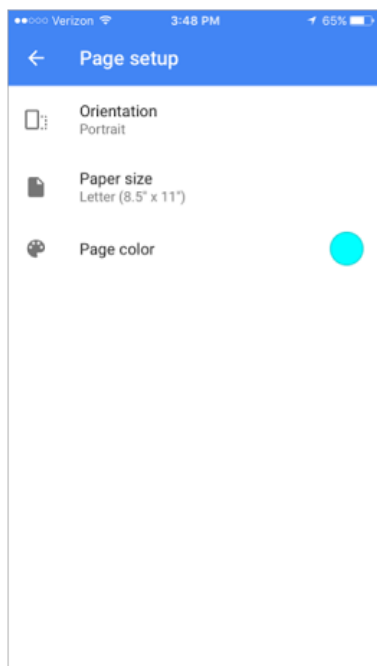
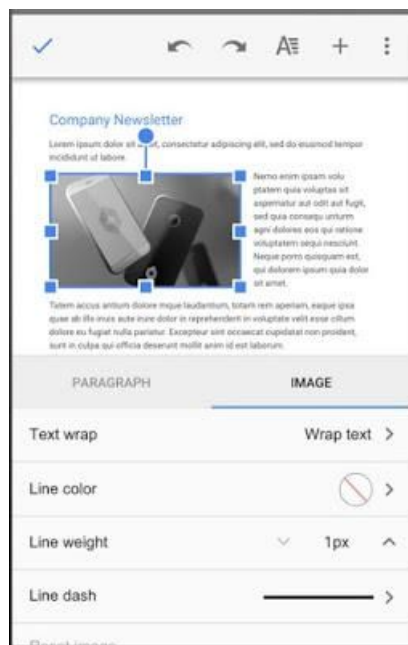


Android: EPUB と ODF のサポート

Google ドキュメントで、EPUB (.epub) と OpenDocument テキスト (.odt) の形式でファイルを書き出せるようになりました。Android アプリから OpenDocument テキスト (.odt) ファイルを読み込むこともできます。Google スプレッドシートとスライドでも同様に、それぞれ OpenDocument スプレッドシート (.ods) と OpenDocument プレゼンテーション (.odp) の読み込みと書き出しが可能です。

Android 搭載のスマートフォンやタブレットで、次の操作を行えるようになりました。

- ドキュメントでヘッダーやフッターを挿入、編集する
- ドキュメントでテキストをドラッグ&ドロップする
- ドキュメントで画像をサイズ変更、移動、回転したり、画像の周囲のテキストの折り返しや枠線のスタイルを変更したりする >



iPhone や iPad で、次の操作を行えるようになりました。

- ドキュメントでヘッダーやフッターを挿入する
- ドキュメントでヘッダーやフッターにページ番号を挿入する
- <ドキュメントでページのサイズ、向き、色を変更する
- スプレッドシートで枠線（実線、破線、点線）を挿入、編集する

[Google Play](#) [App Store](#)

シンプルな使い勝手

ウェブ版 Google ハングアウトでのグループチャットの作成がより簡単に

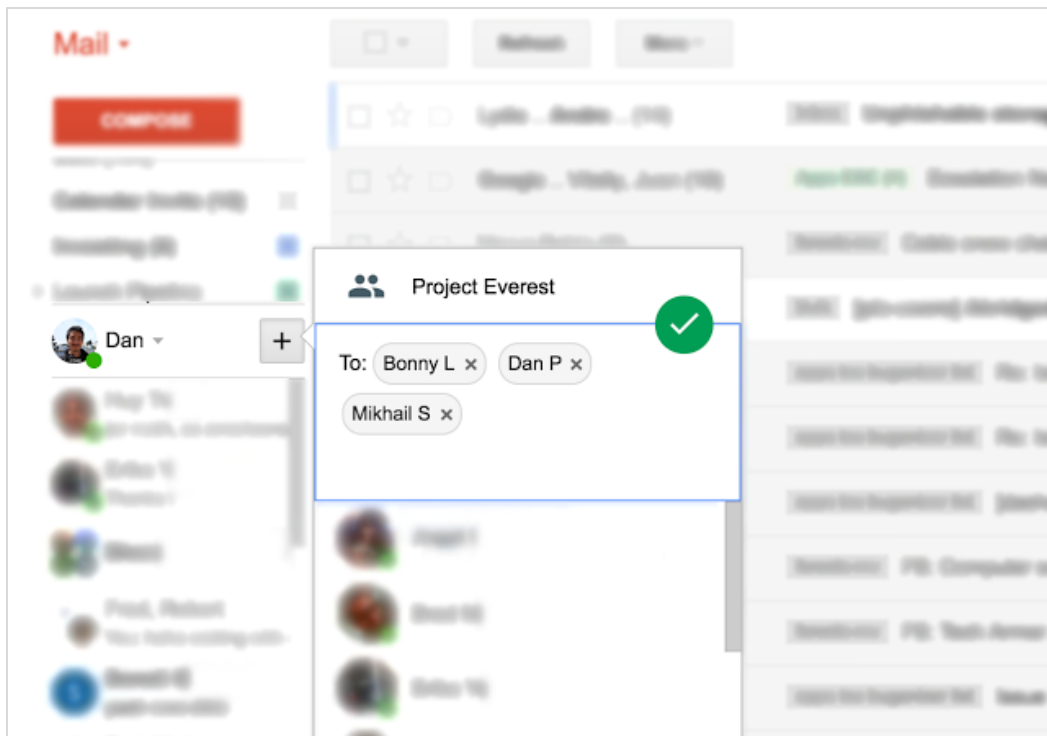
リリース日: 2017 年 1 月 13 日

組織で共有

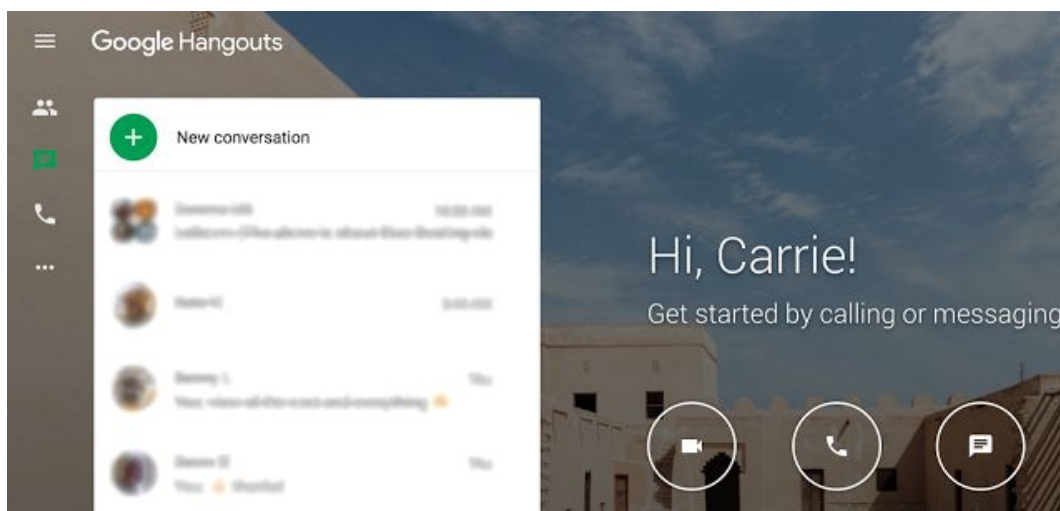
- [トップへ戻る](#) -

最新情報: 昨年リリースされたハングアウトでのグループチャットへの短縮リンクを作成、共有する機能により、ユーザーを1人ずつ招待しなくても、チームメンバーがチャットに参加できるようになりました。このたびのリリースでは、プロジェクトやチームでチャットをより簡単に行っていただけるように操作手順を見直し。

グループチャットの作成時にチャット名をより簡単に設定できるようにしました。まず名前を付けてグループチャットを作成しておいてから、リンクを共有できるようになります。



この新機能は、ウェブ版ハングアウトの3種類のユーザーインターフェースすべてでご利用いただけるようになります。Gmailのハングアウトでは、ハングアウトの連絡先リストの横に[+]ボタンが追加されます。hangouts.google.comとChrome拡張機能では、[新しい会話]という項目が表示されるようになります。[新しいグループ]や[新しい会話]をクリックすると、グループ名の設定、メンバーの追加、またはその両方を行うことができます。



Google スプレッドシートでセルのかたまりを挿入、削除する

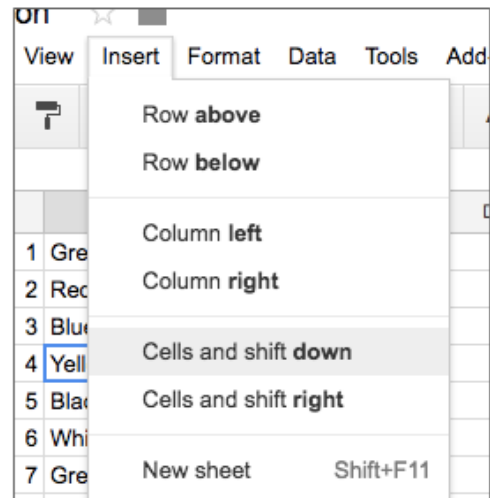
リリース日: 2017 年 1 月 18 日

組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: スプレッドシート内のデータは、常にすべての行と列に均一に分散しているわけではありません。多くの場合、シートには複数のテーブルや分離できないデータ領域が含まれています。このたび導入される機能により、コンテンツを乱すことなくこれらのシートにセルを挿入するのが容易になりました。今後は、ウェブ上で任意のスプレッドシートに長方形のセルのブロックを追加すれば、周囲のセルが下または右に移動されます。同様の方法で、セルのかたまりを削除することができます。

セルの挿入は [挿入] メニューから、セルの削除は [編集] メニューから行うことができます。どちらの機能もセルを右クリックしてアクセスすることもできます。



Google ドライブでテンプレートを使ったファイルの作成がより簡単に

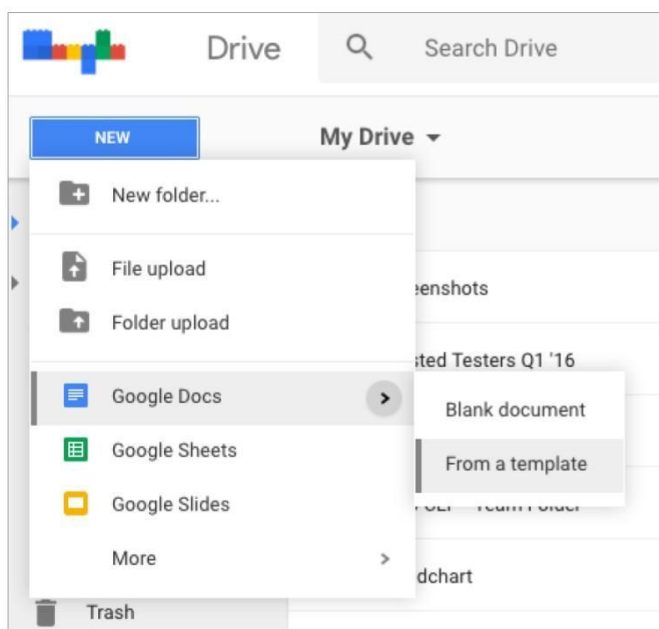
リリース日: 2017 年 1 月 30 日

組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: データの書式よりも内容そのものに集中できるよう、2015 年から Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド、フォームのテンプレートが提供されています。請求書、提案資料、事例のテンプレートのほか、専門家がデザインしたテンプレートや組織専用に作られたテンプレートが用意されています。

今回のリリースにより、ドライブからテンプレートに直接アクセスして、より簡単にファイルを作成できるようになります。ドキュメント、スプレッドシート、スライド、フォームのトップページにアクセスする代わりに、ドライブ > [新規] > [Google ドキュメント]、[Google スプレッドシート]、[Google スライド]、または [Google フォーム] > [テンプレートから] にアクセスします。表示されたテンプレートギャラリーの中から、気に入ったテンプレートを選択してください。



本リリースは 2017 年 1 月 30 日より段階的に導入され、2 月中旬にはすべてのお客様にご利用いただける予定です。

ビジネス対応

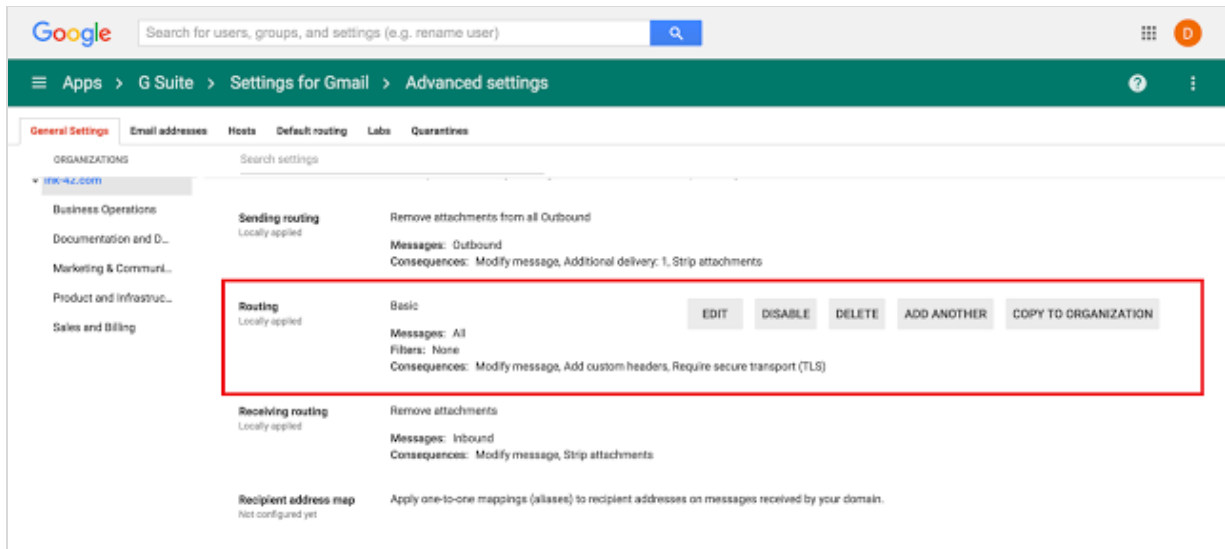
管理コンソールの転送設定の一元化により、メールの効率的な管理が可能に

リリース日: 2017 年 1 月 4 日

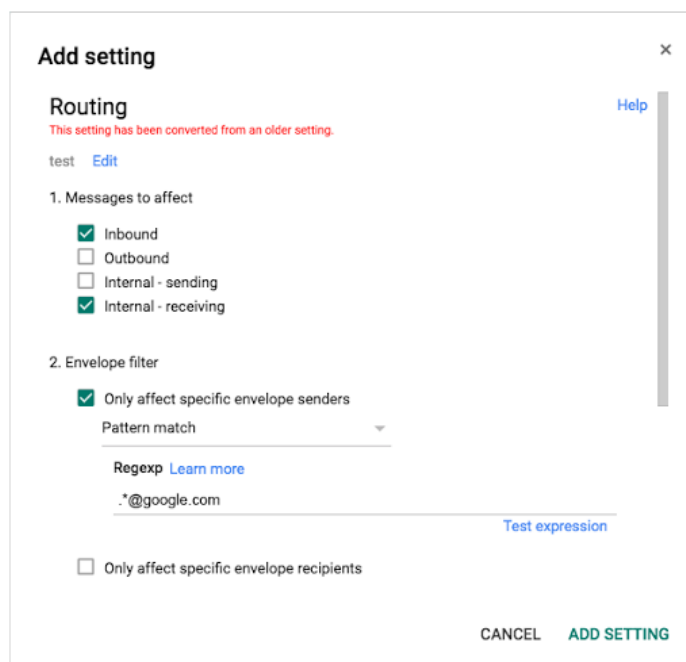
★ 管理者向けの機能

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: G Suite をご利用のお客様から Gmail が支持を得ているのは、その使いやすさや信頼性はもちろんのこと、企業のニーズに合わせた転送設定を管理コンソールで行えるからです。Google では、この機能がより多くの事例に対応できるよう拡張を続けるなかで、すべての転送設定を一元的に確認できればより管理しやすくなるだろうとの確信に至りました。そこで、このたびのリリースでは、1 年前に導入された管理コンソールの Gmail の **[転送]** 欄で、Gmail の転送設定の一元化を進めることになりました。

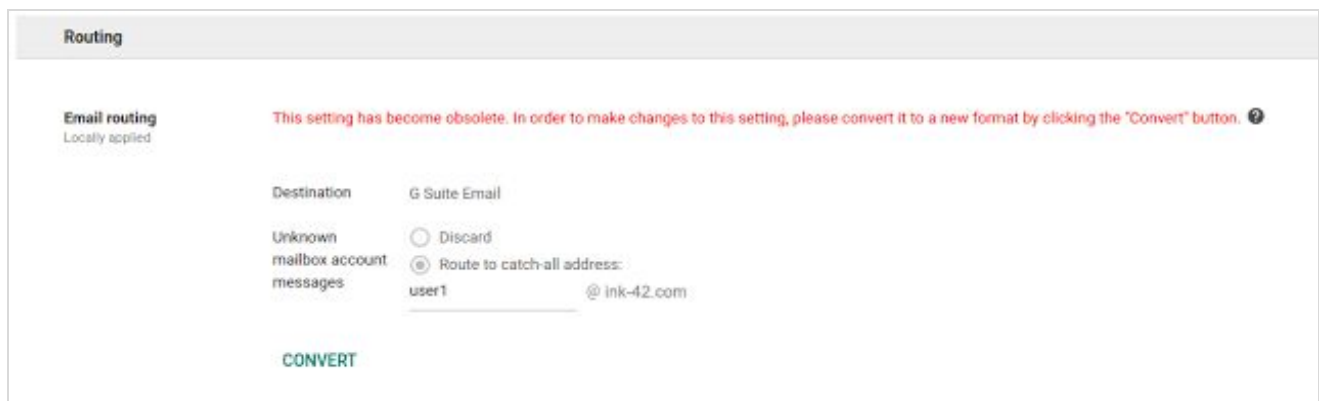


2017 年 1 月 23 日の週より、送信ルーティング、受信ルーティング、キャッチオールアドレス、ドメインレベルの転送の既存の設定は読み取り専用になります。これらの設定は以降も有効ですが、設定内容を変更するには、既存のルール横にある **[変換]** ボタンをクリックする必要があります。既存の設定を変換して新しい設定欄に自動的に反映されるようにすることで、既存の設定内容をできる限り簡単に変更できるようにしました。移行後の設定は一元化された **[転送]** 欄に反映されるので、すべてのルールを 1 か所でまとめて管理できるようになります。移行前の設定は以前のユーザーインターフェースに表示されなくなるため、移行後に以前のルールを削除する必要はありません。



おすすめの対応方法

1. 既存の転送設定を変更するには、ルール横にある **[変換]** ボタンをクリックします。以前とはユーザーインターフェースが少々異なるため、新しい画面の内容を再度ご確認ください。



2. 新しい転送設定の追加は、Gmail の [詳細設定] の [転送] から行います。以前の転送設定欄は、まもなく削除される予定です。
3. 既存のルールを事前に新しい転送設定欄に反映させるには、すべてのルールについて [変換] ボタンを使って操作しておく必要があります。既存の転送ルールの変更が必要ない場合は、**2017年3月6日**に、ルールが新しい形式で新しい転送設定欄に自動的に変換されます。

Google Play プライベート チャンネルの変更について

リリース日: 2017年1月12日

★ 管理者向けの機能

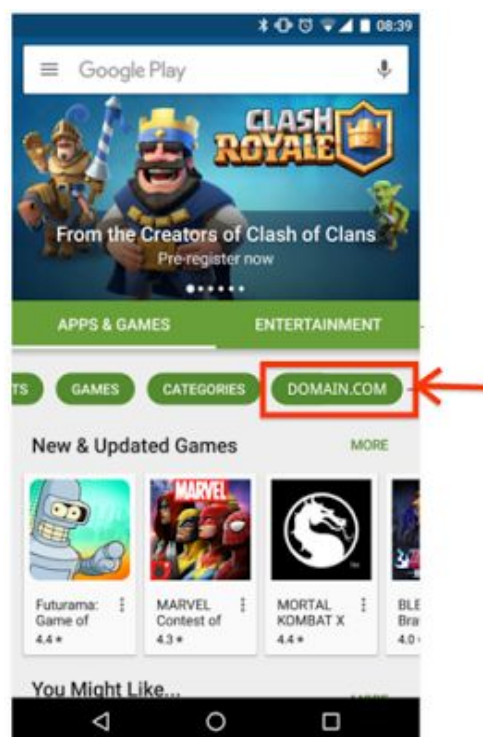
[- トップへ戻る -](#)

最新情報: 今月、Google Play プライベート チャンネルに対する変更をご紹介しました。この機能では、G Suite の管理者が限定公開（カスタム）Android アプリを Play ストアのアプリとしてユーザーに提供できます。

このリリースによって、限定公開アプリを見つけやすくなり、ユーザーがアクセスしやすくなりました。また、限定公開アプリを使用しているお客様は、企業向けモバイル管理（EMM）プロバイダを使用して、これらのアプリを仕事用プロファイルと会社が所有する端末向けに、より効率的にホワイトリストに登録できます。

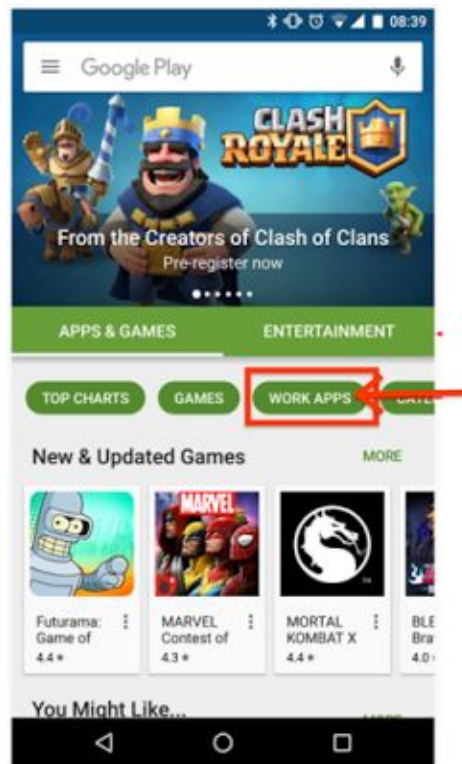
限定公開アプリがより見つけやすくなり、ユーザーのアクセスが容易に

以前は、限定公開アプリは企業のプライベート チャンネルにあり、Play ストアで Android アプリの最後のカテゴリである [企業名] タブの配下に表示されていました。



ユーザーがこれらのアプリにアクセスしやすくなるように、限定公開アプリは Google Play アプリの [ビジネ

ツール] タブに移動されました。これは左から3つ目のカテゴリで、組織で [Google モバイル管理](#)（英語）などの EMM プロバイダを使用している場合は、管理対象アプリもここに表示されます。



限定公開アプリと managed Google Play（旧 Play for Work）で新しいお客様向けに [ビジネスツール] をより使いやすくする

Google Play の [ビジネスツール] に関する Google のビジョンは、企業ユーザーが必要なアプリケーションを1つの場所ですべて見つけられるようにすることです。G Suite 管理者は、一般公開アプリケーションと、会社の従業員向け限定公開アプリケーションの両方をまとめて提供できるようになりました。

また、従業員向けのアクセス制御を別々に管理する必要がなくなりました。managed Google Play 内の一般公開アプリケーションと限定公開アプリケーションの両方に対する制御が統合され、モバイルアプリケーションをホワイトリストに登録するプロセスが簡素化されました。

このホワイトリスト登録プロセス簡素化の一部として、現在 Google Play プライベートチャンネルを使用しておらず、限定公開アプリを初めて展開するお客様は、Google モバイル管理などの EMM に登録し、[managed Google Play に登録](#)する必要があります。これによって、現在の管理対象の一般公開アプリケーションと同様に、仕事用プロファイルと会社が所有する端末で限定公開アプリケーションを使用できるようになります。現在 Google Play プライベートチャンネルを使用しているお客様は、EMM を使用する必要はありません。また、限定公開アプリケーションを引き続き今と同じように使用できます。

Google Play

ユーザーの自動停止機能により、SMTP リレーの不正使用を防いでドメインから送られるメールの信頼性を維持

リリース日: 2017 年 1 月 24 日

★ 管理者向けの機能

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: 昨年 10 月より導入されている新しい管理者通知機能により、迷惑メールや悪質なメールの送信に [SMTP リレーサービス](#) が不正使用されていることが検出されると、管理者の方にお知らせが届くようになりました。影響を受けたユーザーのリストと、問題の原因を特定し解決する手順がドメインの特権管理者宛てに送られる仕組みです。さらに **2017 年 2 月 6 日**以降は、不正使用が 24 時間以上続く場合に、ドメインの信頼性を守るため、該当のユーザーからメールが送信されないようアカウントが自動停止されるようになります。停止されたアカウントは [管理コンソール](#) から再び有効にできますが、まずは迷惑メールの送信元を特定してください。



Hello G Suite Administrator,

Google regularly monitors SMTP relay traffic from G Suite domains to help protect your domain reputation and keep your mailflow healthy. A high volume of relay spam is often an indicator that a machine or account has been compromised or a device is set up as an open relay. This can damage the reputation of your domain.

We noticed large volumes of SMTP relay spam over the past 24 hours from the addresses listed below.

We urge you to review your relay devices and accounts as soon as possible. You can find suggestions on [how to investigate this](#) in the G Suite Help Center.

Learn more about this [Account activity alert](#) in the G Suite Help Center.

Sincerely,
The G Suite Team

Registered G Suite Users

Google will temporarily **suspend** any user listed below if the account continues to send spam messages over the next 24 hours. You can [restore](#) the account when the issue is resolved. During suspension, the user will not be able to sign in or send mail, but will receive mail as normal.

Sending Address	Details
justin@ink-42.com	<p>Originating Device IPs 1.2.3.4, 192.168</p> <p>Relay Client IPs 2.3.4.5, 10.0.0.1, 192.168.1.1, 192.168.1.2, 192.168.1.3, 192.168.1.4</p> <p>Sample Message IDs 112233445566778899@ink-42.com 998877665544332211@ink-42.com 44332211009988776655@ink-42.com</p>
printer@ink-42.com	<p>Originating Device IPs 10.00.0.0</p> <p>Relay Client IPs 2.3.4.5</p> <p>Sample Message IDs 112233445566778899@ink-42.com 998877665544332211@ink-42.com</p>

G Suite についてのその他のお知らせ

Google Cloud Next '17: 2017 3 8 10 |

🌐 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

Next でクラウドの最新情報を入手しよう。

新しいアイデアを得たり、業界の専門家から学んだり、仲間と交流したりしましょう。クラウドの未来を創造するための体験型のイベントを開催いたします。経営者、顧客、パートナー、デベロッパー、IT 関連の意思決定を行う立場の方々、Google エンジニアが一同に会し行われるイベントです。Google Cloud Platform、G Suite、Google マップ、端末などに関する 200 を超えるセッションが用意されています。ぜひご登録ください。

Google Cloud

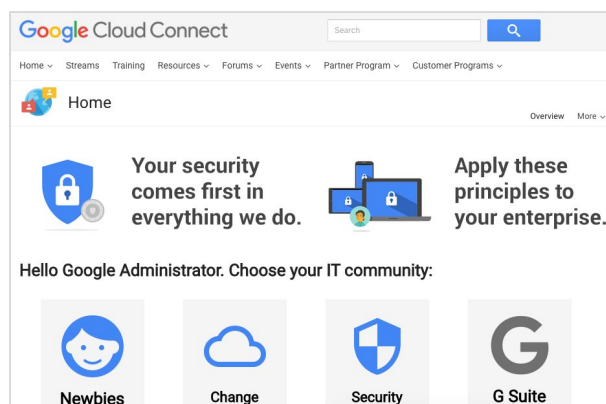
Next

REGISTER NOW

Google Cloud Connect GCC : G Suite

★ 管理者向けリソース

[- トップへ戻る -](#)



今すぐログイン: Google Cloud Connect (GCC)

(旧 Google for Work Connect) には、G Suite で仕事をより進めやすくするためのあらゆるリソースが揃っています。今すぐログインして、おすすめの G Suite 使用法についてのディスカッションや質疑応答を通して他の企業の IT 管理者や Google 社員との情報交換を始めましょう。ぜひご活用ください。コミュニティ マネージャーの Lauren Gallegos をフォローすると、最新情報を毎週入手できます。

最新情報: 1 月は、2017 年の新しい編集カレンダーが公開され、Transformation Gallery を使用して組織を改善する方法や Google Cloud の主要イベント Next '17 の詳細 (ともに英語) などの情報が追加されました。

また、Kim Wylie による「チェンジ マネジメント」シリーズでは、「Google のチェンジ マネジメント モデル」、Kate Johnson 氏による寄稿「未来の職場への取り組み: 緊急を要する課題の設定」(ともに英語)についての記事が紹介されました。2 月は、Google Cloud サービスのさらなる活用例をご紹介します予定です。

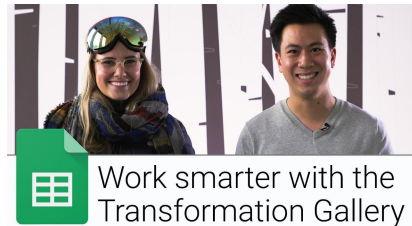
G Suite Show を YouTube で毎週火曜日午前 11 時（米国太平洋標準時）に公開

 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

シーズン 10 の開始

G Suite Show が、内容を一新して新しいシーズンをスタートします。1 月は、新しい G Suite のブランド表示とともに番組がリニューアルされました。新しいオープニングの後、G Suite サービス全般に関する活用法やヒントを、これまでどおりご紹介していきます。




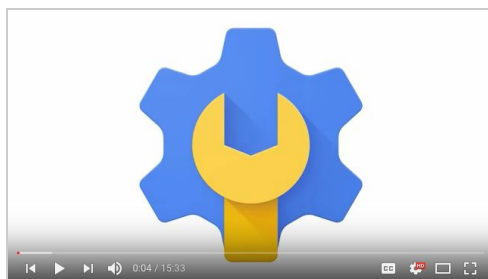
Drea と Lily からは、新機能である [データ探索] ボタンについて紹介がありました。機械学習機能が組み込まれており、Google ドキュメントや Google スライドのプレゼンテーションやコンテンツの書式設定、検索、デザインにかかる時間を短縮することができます。

エピソード 3 では、Jenny と Jimmy から Transformation Gallery に掲載されている有給休暇の管理方法の事例について紹介がありました。休暇の申請や承認など、休暇の取得を全般的に管理する仕組みを模索されている組織やチームの皆様に、耳寄りな活用事例です。

新しい動画も公開してまいりますので、ぜひご期待ください。

G Suite

 管理者向けリソース

[- トップへ戻る -](#)


: G Suite 管理者向けの最新情報の動画では、前月にリリースした G Suite 管理者向けのすべての機能をまとめて紹介しています。これらの動画はいつでもご覧いただけ、共有も可能です。

: YouTube の再生リストをブックマークに登録し、毎月の新着動画をチェックします。